

調査の概要

- ・ 目的：
本調査は、入学予定の学生の実情をふまえ有益な学生支援の検討・運用のため、以下の4点で構成し実施している。
 1. 新入生の大学教育や将来への多様なニーズを把握する。
 2. 新入生が予定している標準的な学生生活の状況を把握する。
 3. 新入生の家庭状況からその経済的基盤を推定し、お茶の水女子大学における学生支援事業を改善するための基礎資料とする。
 4. 国立大学入学者の学生生活・家庭・進路などに関する調査研究を行うための基礎資料とする。

- ・ 調査時期：2022年2月－3月

- ・ 調査方法：
質問紙調査票の郵送による送付・返送である。合格者および保護者に対しては、他の入学手続関係書類に調査票および調査票返送用封筒を同封し、他の書類とともに回答の返送を依頼した。

- ・ 分析対象：
分析対象者は、令和4年度学部入学者436名、保護者427名である¹。但し、無回答・非該当の場合など、調査項目によって、サンプル数に多少の違いがある。調査別の詳細は以下の通りである。
 1. 「新入生を対象とした調査（新入生調査）」
令和4年度学部入学者485名。有効回答数436名（入学者のうち89.9%）。

学部別内訳	文教育学部	196名	（入学者226名のうち86.7%）
	理学部	117名	（入学者129名のうち90.7%）
	生活科学部	123名	（入学者130名のうち94.6%）
 2. 「新入生の保護者を対象とした調査（新入生保護者調査）」
令和3年度学部入学生の保護者485名。有効回答数427名（入学者のうち88.0%）。

- ・ 実施主体：国立大学法人 お茶の水女子大学 学生・キャリア支援センター

- ・ 個人情報について：
お茶の水女子大学では、個人情報の管理に関する規程および個人情報の公開に関する取扱要項等の規定を定めて、本学が保有する個人情報の適正な管理に努め、学内の倫理審査も受けている。（詳細は、<http://www.ocha.ac.jp/about/individual.html> 参照）
調査票は、大学で付けたID番号で管理をし、回答者の氏名や住所などは記載せずに回答・返送を求めた。

¹ 調査票では回答データの使用可否を尋ねる項目を設けているが、本年度はすべての回答者から使用許可を得られたため、返送いただいた回答すべてを分析対象とした。新入生本人のみ回答いただいたケースが11件、保護者のみ回答いただいたケースが2件であった。

【参考文献】

- ・ ベネッセ教育研究開発センター（2009）
「第1回 大学生の学習・生活実態調査報告書[2008年]」
<https://berd.benesse.jp/koutou/research/detail1.php?id=3161>
- ・ 電通育英会（2019）
「大学生のキャリア意識調査2019 報告書」
https://www.dentsu-ikueikai.or.jp/wp-content/uploads/2020/10/college_career_repo2019.pdf
- ・ 日本学生支援機構（2022）
「令和2年度 学生生活調査結果」
https://www.jasso.go.jp/statistics/gakusei_chosa/_icsFiles/afldfile/2022/03/16/data20_all.pdf
- ・ お茶の水女子大学（2021）
「令和3年度 新入生の生活に関する調査報告書」
- ・ お茶の水女子大学（2020）
「令和2年度 新入生の生活に関する調査報告書」
- ・ お茶の水女子大学（2019）
「平成31年度 新入生の生活に関する調査報告書」
- ・ 全国大学生調査コンソーシアム/東京大学 大学経営・政策研究センター（2008）
「全国大学生調査 第一次～第三次調査 基礎集計表」
http://ump.p.u-tokyo.ac.jp/crump/resource/kiso2008_01.pdf

全国大学生協働組合連合会（2022）「第57回 学生生活実態調査の概要報告」
https://www.univcoop.or.jp/press/life/pdf/pdf_report57.pdf

※Web サイトへのアクセス日は2022年12月27日